

V-PLAN バイ プラン とは

この計画には「新たな成熟都市へ うつのみや V-Plan」という愛称がついています。

「新たな成熟都市へ」は、これからの次代の移り変わりの中でも、さまざまな価値観を認め合い、高め合いながら、本当の魅力や豊かさを持続・向上していける「輝き続ける都市」を目指していくことを表現しています。

また、「V-Plan」は、第5次総合計画の「V」(ローマ数字)と、これからのまちづくりのキーワードとなる5つの「V(ブイ)」を表しています。

- バイタリティ
I Vitality 活力・元気・持続力
- バラエティ
II Variety 多様性
- バリュー
III Value 価値
- ビッドネス
IV Vividness 鮮やかさ・活発さ
- ビクトリー
V Victory 勝利・克服 こくふく

平成25年3月
宇都宮市

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA



せいじゆく
新たな成熟都市へ
うつのみや

V-PLAN

バイ プラン

お問い合わせ先
宇都宮市 総合政策部 政策審議室
〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1-5
TEL/028-632-2116 FAX/028-632-5422
E-mail/u2005@city.utsunomiya.tochigi.jp



◀第5次宇都宮市総合計画改定基本計画書は、電子書籍でも御覧になれます。

▶第5次宇都宮市総合計画 改定基本計画(後期基本計画)概要版の印刷費2,940千円(消費税を含む)



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



がいようばん
[概要版]

第5次宇都宮市総合計画
改定基本計画(後期基本計画)



総合計画は
まちづくりの
設計図なんだね。

総合計画とは

将来のまちづくりのあるべき姿(都市像)を定め、その実現に必要な施策を総合的かつ体系的にまとめた計画となるものです。

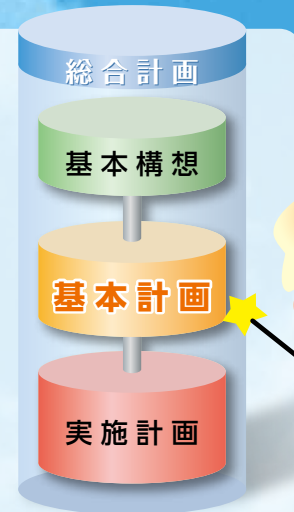
策定の趣旨

宇都宮市では、平成19年度に、平成34年を目標年次とする「第5次宇都宮市総合計画」を策定し、この計画の基本構想に掲げる都市像「**くらしいきいき まちキラキラ つながる人** ★ **夢のみや うつのみや**」を実現するため、その具体的な計画となる基本計画(前期5年、後期5年の計10年、平成20年度から平成29年度)に取り組んできました。

平成24(2012)年度に、基本計画の前期5年が終了することに伴い、この間の社会経済情勢の変化などに、より一層的確に対応するため、後期基本計画を見直しました。

総合計画の構成

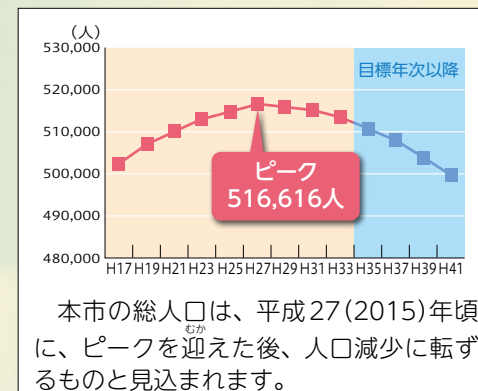
- **基本構想** 目標年次：平成34年
本市の目指す将来像とこれを実現するための施策の基本方向を明らかにしたもの。
- **基本計画** 前期5年、後期5年の計10年
基本構想で定めた目標を実現するための具体的な計画。
後期基本計画の期間は、平成25(2013)年度から平成29(2017)年度までの5年間です。
- **実施計画** 計画期間：3年(毎年見直し)
基本計画で定めた施策を年度ごとに具体化する計画。



ここの
後期基本計画を
見直したのね。

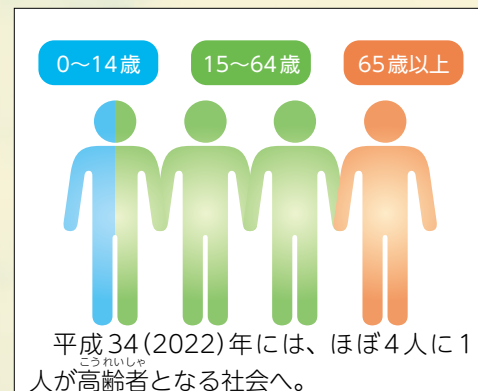
社会経済の見通しと現状等

総人口の推移



この他にも、一人暮らし世帯の増加、特に65歳以上では、1.4倍にも増加することや、就業人口の減少などに伴う市内総生産額の緩やかな減少などが見込まれています。

年齢別人口



社会潮流の変化

- 人口減少局面への突入と人口構造の変化
- 家族や地域の変容
- 地域産業・経済を取り巻く状況の変化
- 安全・安心で環境にやさしい都市づくりへの要請の高まり

まちづくりの重点課題

こうした状況をふまえて、「まちづくりの重点課題」を作成しました。

- ① 子育て支援の充実
- ② 高齢者の生活の質の向上
- ③ 安全で安心な生活環境の創出
- ④ 環境調和型社会の構築
- ⑤ 総合的な交通体系の確立
- ⑥ 魅力ある拠点の創造
- ⑦ 都市の個性づくりと発信
- ⑧ 次代を築く人材の育成
- ⑨ 産業力の強化
- ⑩ 地域が主体となったまちづくり



「まちづくりの重点課題」が解決されると、3つの「まち」と「まちのつくり」が実現されて、宇都宮市がもっと輝くのね。

まちづくりの目標

くらしいきいき まちキラキラ つながる人 ★ 夢のみや うつのみや (都市像)



みんなが幸せに暮らせる
まちって、どんなまちかしら？

“幸せ力”
アップ
戦略プラン

みんなが幸せに暮らせるまち

子どもからお年寄りまで宇都宮市に住むみんなが、笑顔で安心して、幸せに暮らせるようなまちづくりを進めていきます。

1 子どもたちの“笑顔の輪” かく だい 拡大プロジェクト

親の子育てに対する不安や負担を軽減するとともに、子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、安心して子どもを生み育て、親と子が共に成長することができる環境を創出します。

主な
目標

- 子育てに不安や負担を感じている人を減らします。
- 地域での活動に取り組んでいる児童を増やします。
- 児童虐待の件数を減らします。

例えば
こんなことに
取り組んで
いきます。

青少年の居場所づくり事業の充実



保育所、認定こども園等の整備促進

2 からだ元気！ こころ豊かに！ 健康長寿応援プロジェクト

子どもから高齢者まですべての市民の健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を図り、高齢期を迎えても住み慣れた地域で、生きがいを持ち、自己実現を果たしながら、心豊かに元気に活躍できる環境を創出するため、医療・介護・福祉基盤や地域の関係機関と連携を図ります。

主な
目標

- 健康寿命(自立して健康に生活できる期間)を延ばします。
- 介護を必要としない元気な高齢者を増やします。
- ボランティア活動へ参加している高齢者を増やします。

例えば
こんなことに
取り組んで
いきます。



地域の健康づくり実践活動の推進



高齢者の社会参画の仕組みづくりの推進

3 “安全社会・安心生活” そうしゅつ 創出プロジェクト

自然災害や事故、犯罪など、日常生活におけるさまざまな危険や不安を減らし、市民がやすらぎをもって暮らせる安全で安心な生活環境を創出します。

主な
目標

- 住宅の耐震化率を高めます。
- 老朽配水管の更新率を高めます。
- 交通事故の発生件数を減らします。

例えば
こんなことに
取り組んで
いきます。



防災教育の推進



学校施設の耐震化の推進

災害にはしっかりと備えておかないとね。

4 ひとや自然にやさしい “環境都市”実現プロジェクト

市民一人ひとりの環境に配慮した行動の実践などによる“環境と調和したまち”の形成を目指します。

主な
目標

- 家庭版環境ISOの認定家庭数を増やします。
- 住宅用太陽光発電システムを設置する家庭を増やします。
- 市民1人1日あたり資源物以外のごみの量を減らします。

例えば
こんなことに
取り組んで
いきます。



もったいない運動の推進



住宅用太陽光発電設備の導入促進

公共交通が整ってみんなの
移動が便利になるのね。

5 まちの骨格となる 交通体系確立※1 プロジェクト

今後の都市のあり方とも調和する、子どもから高齢者まで、誰もが移動しやすい交通環境の創出に向け、「ネットワーク型コンパクトシティ」を形成するための骨格となる、総合的な公共交通体系を確立します。

主な
目標

- 公共交通の利用者数を増やします。
- 自転車走行空間の整備箇所を増やします。
- 都市計画道路の整備率を高めます。

例えば
こんなことに
取り組んで
いきます。



自転車専用通行帯の整備



新交通システム(LRT)の導入

※1 交通体系確立…バスや電車などの交通手段や、道路などが整備されること



どうすればみんなに選ばれるまちになるのかしら？

“ブランドカ”
アップ
戦略プラン

みんなに選ばれるまち

〔人・もの・情報が活発に交流し、また、新たな文化や観光が生まれるなど、宇都宮市の魅力と活力、存在感が高まるようなまちづくりを進めていきます。〕

6

50万都市の中枢機能※1・交流機能※2強化、 活力向上プロジェクト

50万都市にふさわしい、人・もの・情報がさらに集積し交流する、広域的な中心性、中枢性を高めた都市拠点^{ちゅうすう}を形成するとともに、「ネットワーク型コンパクトシティ」の重要な要素となる、集約化され、市民の暮らしや活動に合わせたさまざまな拠点^{きょてん}の形成を推進します。

例えば
こんなことに
取り組んで
いきます。

主な
目標

- 人口が集中している地区の人口をさらに増やします。
- 都市拠点^{ちゅうすう}（市内中心部）の通行量を増やします。
- 中心商業地の空き店舗を減らします。

みんなが暮らしやすい
まちになるといいね。



JR宇都宮駅周辺地区整備の推進



市街地再開発事業の推進



中心市街地の賑わいづくりの強化



魅力ある都市景観づくり事業の推進

※1 中枢機能…中心となる重要な場所としての役割を備えること
※2 交流機能…人やものが行き来すること

7

都市ブランド確立・アピールプロジェクト

本市が、独自の文化が薫る都市として、その個性を磨き上げ、全国にアピールするとともに、観光客などの本市を訪れる交流人口の拡大を目指します。

主な
目標

- 宇都宮に愛着がある人を増やします。
- 「来てよかった」、「また訪れたい」と感じている来訪者を増やします。
- 観光客などの来訪者数を増やします。

宇都宮をいっぱい
アピール
しなくっちゃ！

例えば
こんなことに
取り組んで
いきます。



都市のブランド化の推進



おもてなしのまち宇都宮の推進

地域資源を活用した戦略的観光事業の推進



餃子のまち（餃子の消費額日本一）



カクテルのまち（国内トップクラスのバーテンダーが集結）



ジャズのまち（宇都宮市出身の有名ジャズプレーヤーを輩出）



自転車のまち（アジア最高位の自転車ロードレースを開催など）

プロスポーツを活用した地域の活力と都市の 魅力の創造



栃木サッカークラブ

©TOCHIGI SC



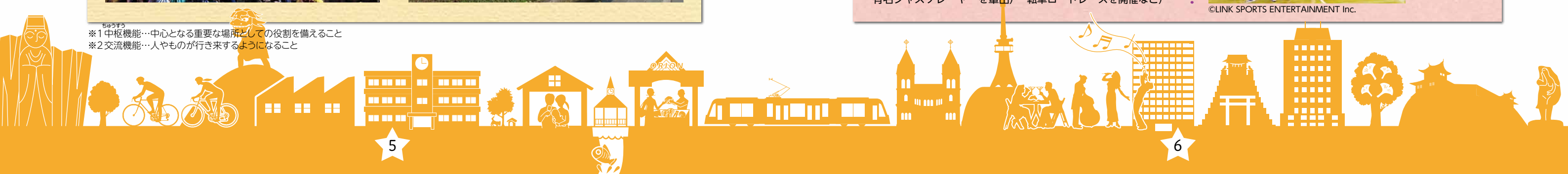
宇都宮ブリッツェン

©STUDIO NOUTIS



リンク栃木ブレックス

©LINK SPORTS ENTERTAINMENT Inc.



宇都宮がいつまでも
かがやき続けるためには
何をしたらよいのかしら？

“底力”
アップ
戦略プラン

持続的に発展できるまち

〔人間力の高い人材が育ち、住民が一体となって課題を解決できる社会がつくられるとともに、産業や経済が発展し続けられるまちづくりを進めていきます。〕

8 高い志を持って、未来へ羽ばたく “宮っ子スピリット”養成プロジェクト

次代の宇都宮を築き、担うことのできる意欲や能力、やさしさや思いやり、さらには新しい価値を創造する世界的で幅広い視野を持った人材を育成していきます。

主な
目標

- 学習内容定着度調査の正答率を高めます。
- いじめの解消率を高めます。
- 新体力テスト(※1)総合評価A段階の生徒を増やします。



知

例えば
こんなことに
取り組んで
いきます。

- 確かな学力の定着
- 小中一貫教育・地域学校
園の充実
- 特別な教育的支援を要する児
童生徒に対する指導の充実
- 学校教育支援の充実



心

体



- 豊かな心の育成
- 子どもの芸術活動・伝統
文化の継承への支援

- 健やかな体づ
くりの推進

※1 新体力テスト…「握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ」の8種類の記録を得点化し、その合計得点によりA～Eの5段階に分けて評価するもの。(栃木県教育委員会の平成23年度児童生徒の体力・運動能力調査では、A段階の割合は19.7%)

未来の産業って
どんなものかしら？

9 産業力底上げ “未来産業創造”プロジェクト

社会経済のボーダーレス化・グローバル化などに対しても、宇都宮の活力の源である産業の、揺るぎない、持続的な発展を目指します。

主な
目標

- 市内事業所の数(製造業)を増やします。
- 認定農業者の数を増やします。
- 起業家セミナーの参加者数を増やします。



農業王国うつのみやの推進

例えば
こんなことに
取り組んで
いきます。



イノベーションが期待される産業の育成



起業家の集積・成長支援

みんなで宇都宮のまちが
よくなるようにがんばって
いるのね。

10 みんなでつくる “大好き地域”実践プロジェクト

「人と人とのつながり」や「地域の絆」を育み、大切にするとともに、社会総ぐるみによる人づくりの推進により、まちづくりを担う「みんな」(※2)が協力し合い、地域が主体となったまちづくり活動を促進します。

主な
目標

- まちづくりセンターとボランティアセンターの登録団体数を増やします。
- 自治会加入率を上げます。
- 地域まちづくり計画をつくる地区の数を増やします。

例えば
こんなことに
取り組んで
いきます。



自治会活性化の促進



地域が一体となったまちづくりの推進



地域行政機関の機能強化

※2 みんな…市民・地域活動団体・NPO・事業者・行政など

都市空間形成の方針 ネットワーク型 コンパクトシティの形成^{れんけい} (連携・集約型都市※1)

宇都宮市が将来にわたり、持続的に発展していくためには、長期的視点のもと、都市空間そのもののあり方を見直していく必要があります。

そのため、市民の「生活の質の向上」を基本として、市民や事業者、行政が一体となって、「ネットワーク型コンパクトシティ^{れんけい} (連携・集約型都市)」を長期的に形成していきます。

現状のまま
何もしないと…



みんなバラバラだし、
なんだか暮らしにくそう。
まちが元気じゃなくなっ
ちゃう。

「ネットワーク 型コンパクトシティ」が形成された場合

都市拠点

- ・本市における中枢性を持つだけでなく、北関東の拠点都市としてふさわしい広域的な拠点性を有する拠点を形成します。
- ・市民が特別なサービスを得ることができる都市機能を備えます。

観光拠点

- ・地域資源、歴史や伝統・文化を生かした特色ある地域空間を創出します。
- ・観光拠点として、公共交通の利便性ととともに、自動車でのアクセス性に優れた拠点を形成します。

産業拠点

- ・高度な産業・研究開発機能や流通業務機能などが集積した機能性の高い産業空間を形成します。
- ・幹線道路や公共交通などの利便性が高く、地域特性や周辺環境と調和した拠点を形成します。

まちが便利になって、
活気が出てきたわ。

それぞれの拠点がまちの機能を 補い合い高め合う

都市拠点、地域拠点、産業拠点など、それぞれの拠点がつながり、お互いのまちの機能を補い合うとともに、相乗効果で都市全体の魅力が高まります。

市内や拠点間を便利に 移動

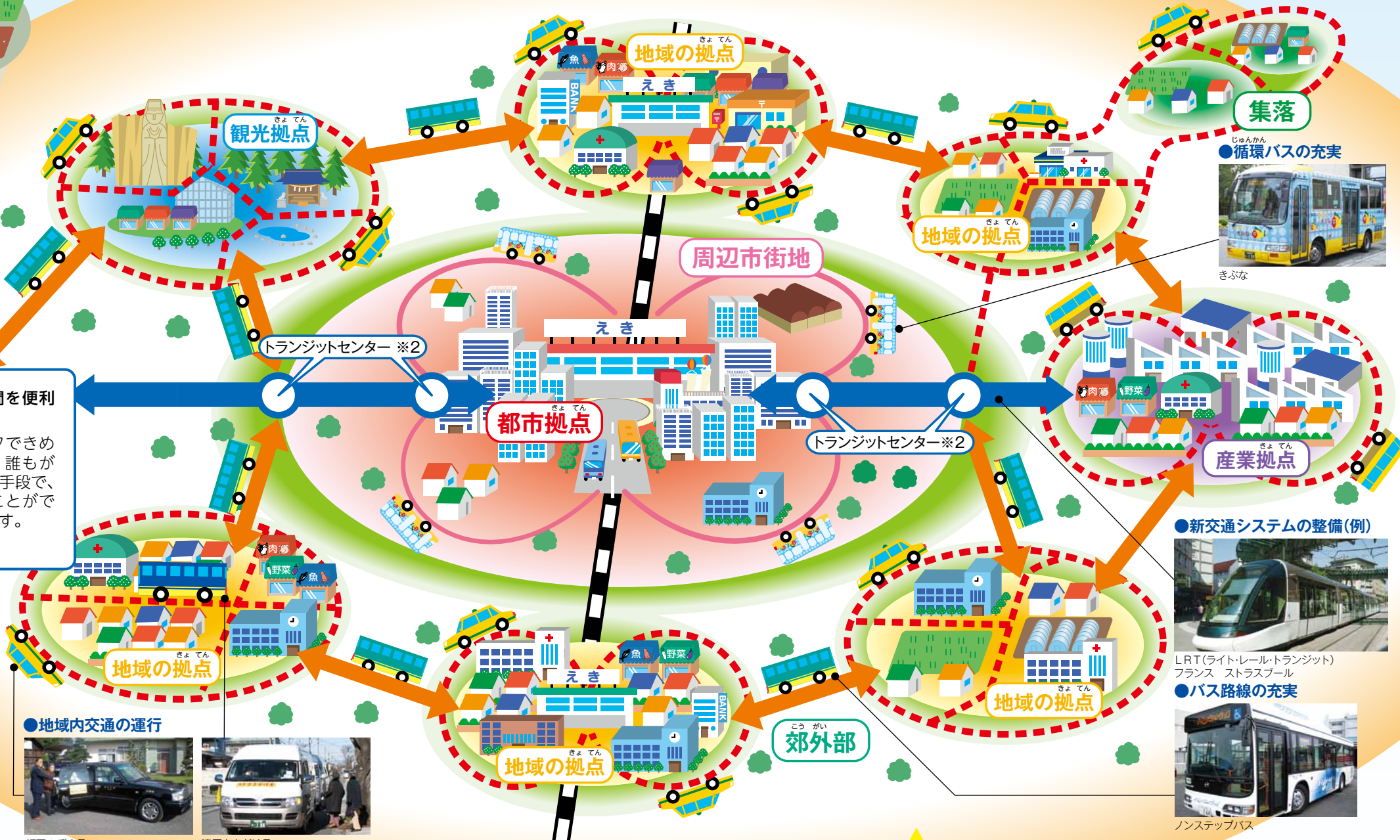
交通ネットワークできめ細かくつながり、誰もが目的に応じた交通手段で、快適に移動することができるようになります。

地域の拠点

- ・日常生活に対応する各種サービス機能が集積し、地域の自立性を支える拠点を形成します。
- ・毎日活用するような利用頻度の高いサービスを受けられるよう都市機能を備えます。
- ・公共交通や道路などの多様な移動手段により都市機能が支えられています。
- ・拠点ごとの特性に応じ、商業・文化・公的サービスなど、様々な機能を備えます。

※1 集約型都市…まちの機能や人口が拠点到集積(コンパクト)し、拠点が連携(ネットワーク)したまち(都市)のこと

※2 トランジットセンター…鉄道やバス、タクシーなど、他の公共交通に乗り換えるための交通結節点のこと



板戸のぞみ号

清原さきがけ号